

厳しい情勢の中での警衛・警護警備

1 警衛

平成一九年中、天皇后両陛下は、第五八回全国植樹祭（六月、北海道）、第六二回国民体育大会（九月、秋田）、第二七回全国豊かな海づくり大会（十一月、滋賀）への御臨席を始め、スウェーデン国王陛下及び王妃陛下御案内（三月、埼玉）、新潟県中越沖地震に伴う被災地お見舞い（八月、新潟）、第一一回IAAF世界陸上競技選手権大阪大会御臨席（八月、大阪）、福岡県西方沖地震被災者御訪問及び災害復興状況御視察（一〇月、福岡）等のため行幸啓になりました。

皇太子殿下は、第六二回国民体育大会冬季大会（一月、群馬）、平成一九年度全国高等学校総合体育大会（七月、佐賀）、第三一回全国育樹祭（十一月、熊本）等の行事・式典への御臨席のため、行啓になりました。

海外へは、天皇后両陛下がリンネ生誕三〇〇年関連行事御臨席等のためスウェーデ

ン及び英国を、また、国際親善のためエストニア、ラトビア及びリトアニア（五月）をそれぞれ御訪問になりました。このほか、皇太



天皇后両陛下の第62回国民体育大会御臨場等に伴う警衛警備（9月、秋田）

子殿下が、国際親善のためモンゴル（七月）を御訪問になるなど、皇族方が計七回御訪問になりました。

これに対し、過激派等は、皇族方が御臨席になる行事式典に反対し、集会、デモやビラ配布に取り組みました。

このような情勢の中で、警察は、皇室と国民との間の親和に配慮した警衛警備を実施し、御身辺の安全確保と歓送迎者の雑踏事故防止を図りました。

2 警護

一 外国要人

一九年八月、故宮澤喜一元首相の内閣・自由民主党合同葬儀が都内において挙行され、国内外の要人等が多数参列しました。警視庁等関係警察では、警護警備を実施し、外国要人の身辺の安全等を確保しました。

また、一九年中は、国賓としてカール一六世グスタフ・スウェーデン国王陛下及び王妃陛下（三月）、チエット・ベトナム国家主席（十一月）が来日したのを始め、公賓として温家宝中国國務院総理（四月）、フン・セン・カンボジア首相（六月）、公式実務訪問賓客

としてチェイニー・米国副大統領（二月）、メルケル・ドイツ首相（八月）等がそれぞれ来日しました。

警視庁等関係警察では、所要の警護警備を実施し、外国要人の安全を確保しました。



来日したチェット・ベトナム国家首席と握手を交わす福田首相（11月）（共同）

二 国内要人

(一) 第二十二回参議院議員通常選挙に伴う警護警備

第二十二回参議院議員通常選挙（一九九年七月）では、多数の国内要人が全国で遊説活動を行い、特に、安倍自由民主党総裁（当時）は、

延べ三五都府県において街頭演説を行いました。

関係警察では、右翼によるテロ等違法事案の発生が懸念される厳しい情勢の下、雑踏事故防止にも配慮した警護警備諸対策を実施し、国内要人の身辺の安全を確保しました。

(二) 自由民主党総裁選挙に伴う警護警備

安倍首相（当時）の辞任に伴う自由民主党総裁選挙（一九九年九月）では、麻生元外務大臣、福田元官房長官の二人が立候補し、全国四ヶ所で見聞発表街頭演説を行うとともに、都内等各所において街頭演説を行いました。

関係警察では、右翼によるテロ等が懸念される厳しい情勢の下、雑踏事故防止にも配慮した警護警備を実施し、国内要人の身辺の安全を確保しました。

(三) 首相警護

安倍首相（当時）は、一九九年中、イスラム過激派による国際テロの脅威が依然として高い中、首脳会談及び東アジア首脳会議出席等に伴う英国、ドイツ、ベルギー、フランス及びフィリピン訪問（一月）、首脳会談出席等に伴う米国、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、クウェート、カタール及びエジプト訪問（四月、五月）、ハイリゲンダム・サミット出席等に伴うドイツ訪問（六月）、A P E

C首脳会議出席等に伴うオーストラリア訪問（九月）等を行いました。

また、福田首相は、首脳会談出席等に伴う米国訪問（一一月）、東アジア首脳会議出席等に伴うシンガポール訪問（一一月）、首脳会談出席等に伴う中国訪問（一二月）を行いました。

警察では、関係国の警護当局と緊密に連携して警護を実施し、その身辺の安全を確保しました。



首脳会談を終え共同記者会見する福田首相とブッシュ大統領（11月、米国）（共同）